

[マツダ] TPMS (タイヤ空気圧警報システム) リセット (例 : CX-5 KE2FW)

概要

以下の作業を実施した場合は、タイヤ空気圧警報システムの初期化を行って下さい。

- タイヤの空気圧を調整した場合
- タイヤやホイールを交換した場合
- タイヤのローテーションをした場合
- DSC HU/CM の交換をした場合
- DSC HU/CM のコネクタを切離した場合
- バッテリーを交換した場合
- バッテリー (-) ケーブルを切離した場合

手順/操作

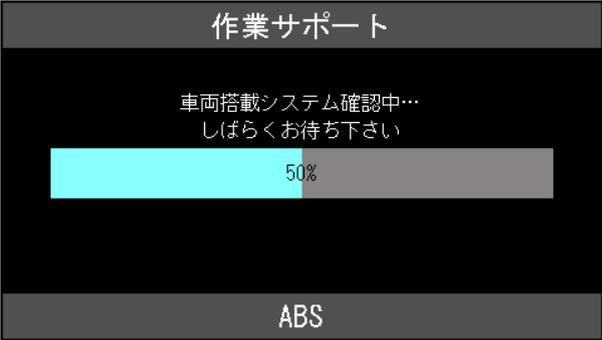
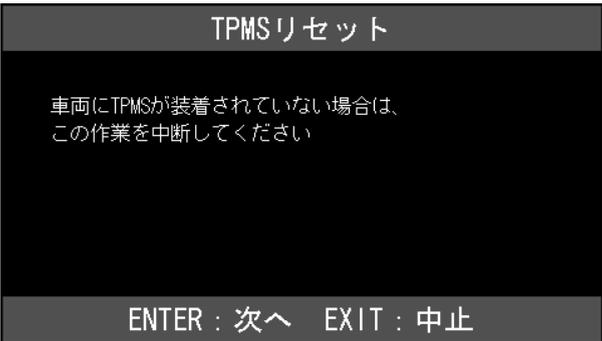
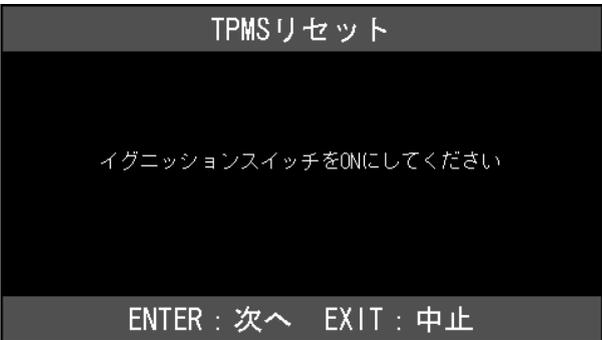
1. 作業の準備

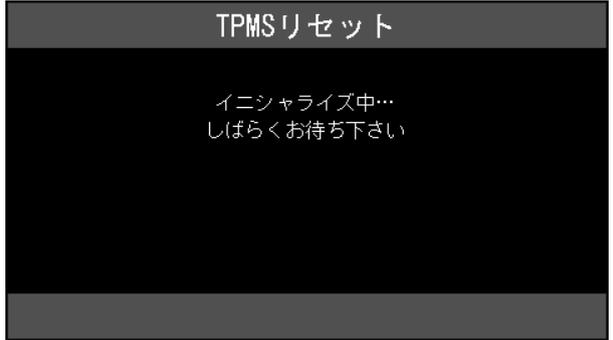
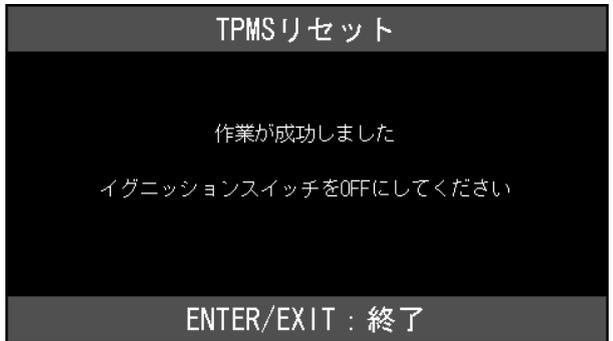
1. 車両を安全で水平な場所に置いて下さい。
2. タイヤが冷えている状態で、4 輪のタイヤ空気圧を標準値に調整して下さい。

注意 : ● **タイヤが冷えている状態は、**
車両を 1 時間放置するか、走行する場合は 1.6km 以内のことです。

2. TPMS リセット

<p>1.</p>	<p>『メーカー選択』画面から 〔国産乗用車〕 - 〔マツダ〕 を選択して [ENTER] を押します。</p>	
<p>2.</p>	<p>『マツダメインメニュー』画面で、 〔作業サポート〕 を選択して [ENTER] を押します。</p>	

<p>3.</p>	<p>車両搭載システムの確認が始まります。</p>	
<p>4.</p>	<p>『作業サポート』画面が表示されましたら、 〔ABS〕を選択して〔ENTER〕を押します。</p>	
<p>5.</p>	<p>『ABS 作業サポート』画面で、 〔TPMS リセット〕を選択して 〔ENTER〕を押します。</p>	
<p>6.</p>	<p>右の注意事項が表示されますので、 TPMS が装着されているか確認して下さい。 装着されていない場合は中止して下さい。 *TPMS の装着がない車両で実施すると、 正常終了できません。</p>	
<p>7.</p>	<p>イグニションスイッチを ON にして、 〔ENTER〕を押します。</p>	

<p>8.</p>	<p>TPMS リセットが開始されます。</p>	 <p>TPMSリセット</p> <p>イニシャライズ中... しばらくお待ち下さい</p>
<p>9.</p>	<p>TPMS リセットが完了したら、 イグニションスイッチを OFF にします。</p>	 <p>TPMSリセット</p> <p>作業が成功しました イグニションスイッチをOFFにしてください</p> <p>ENTER/EXIT : 終了</p>

- 参考 :
- タイヤ空気圧警報システムの初期化を行うと学習が始まります。
 - 学習は 20 分程度の走行で完了します。
 - タイヤ空気圧警報システムの学習中は本来の性能は発揮されません。

<p><u>エラー</u></p> <p>正常に完了しない場合は、 右のエラー画面が表示されます。</p>	 <p>ERROR</p> <p>通信が確立出来ません！ ユニットが装備されていないか、 ソフトが対応していません</p> <p>EXIT : 戻る</p>
-----------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------